
各種大会・研修会 参加報告

平成23年度中四国ブロック老人クラブリーダー研修会（7月7日～8日 山口県）



去る7月7日から2日間、山陽路随一の歴史ある温泉街で、山口市内のビルやホテルが林立する中にある「湯田温泉 かめ福」において、本年度の中四国ブロック老人クラブリーダー研修会が開催され、中四国ブロック各県の老人クラブリーダー328名が参加しました（本県25名参加）。

研修会初日には、全老連河野参事から「元気袋」をはじめとする東日本大震災への全国的な支援活動の状況、老人クラブ活性化3ヵ年計画の目指す方向性等についての報告、「健康づくり・介護予防活動の推進」等、当面する4つの課題に分かれて、日頃の成果を持ち寄る各分科会が行われ、それぞれ熱心な研究討議、意見交換がされました。第3分科会では、本県北島町老連の田代会長から「クラブ未加入者への活動体験参加の呼びかけ」と題し、会員自身が楽しみながら活動しており、そのことが自然と周りの人にも伝わって、参加を希望する若い人も増えていると発表されました。



2日目は、記念講演に続き、前日行われた各分科会の報告が行われ、最後に全老連副会長で広島市老連の橋本会長による講評で2日間にわたる研修の全日程を終了しました。

閉会行事では、次年度の開催県である本県の片山会長から、「皆様を迎えるべく準備を進めていきたい」と挨拶されました。



第53回四国老人クラブ大会（8月4日 愛媛県）



四国老人クラブ大会は、四国4県の老人クラブが一堂に会し、相互の親睦を深めるとともに、当面する諸問題の研究討議を行い、老人クラブ活動の一層の発展を目指そうと毎年四国4県の輪番制で開催されています。本年度は3000年以上の歴史を持ち、日本三古湯の一つ道後温泉を持つ、伊予の国愛媛県で開催されました（参加者365名、本県43名参加）。

大会は、長年にわたる老人クラブ活動への功績を讃える大会長表彰をメインとする式典で始まり、本県からは下記3名が受賞されました。

受賞者 古森 成子（阿南市）
田岡 茂（三好市）
西岡 繁爾（北島町）



その後、「かまぼこ板の絵」展覧会として有名な西予市立美術館「ギャラリーしらかわ」の浅野幸江館長による、楽しい講演（題「人生おもしろうて、やめられん」）が行われました。

休憩をはさみ行われた事例発表では、各県の先進的な取り組みが発表されました。本県からは、阿波市老連の板東理事から「高齢者体力測定を実施して」と題し、健康づくりの一環として阿波市で行った体力測定の様子や結果から分かったことなどを話されました。

最後に4県老人クラブの決意表明である大会宣言が満場一致で決議され、全日程を終了しました。

なお、次年度は高知県で開催されます。